

第3回ワークショップの結果概要

1 公共施設の再編方針（案）について

1) 集会施設

- 宮川地区と婦中熊野地区を合わせると広範囲になり、それぞれの自治会で独自の行事を行っていることも踏まえると、互いに意見の違いがあるかもしれない。公民館の集約については両自治振興会でしっかりと話し合いをしながら進めた方がよい。
- 宮川公民館と婦中熊野公民館の集約は長年に渡って言われている話なので、進展させるためには宮川公民館の耐用年数を目途にして集約の期限を設定したり、短期的な取組として明記する必要があるのではないか。
- 笹倉地区コミュニティセンターは地区の会合に使われているだけでなく、他地区の人でも使っており、無くなってしまったら不便になってしまうので残してほしい。もし廃止を検討するならば、土地の寄付をした会社に対して事前に説明する必要もあるだろう。
- 笹倉地区コミュニティセンターは他の集会施設と比べてコストがかかっていないにも関わらず、短期的な取組みで譲渡や廃止を検討するのはなぜなのか。理由を説明してほしい。
- 地区住民の笹倉地区コミュニティセンターを残したい意向が強いのなら、地元譲渡してもらって自治会館にするなど、地区が残す努力をする必要があるだろう。現状でも地区で管理している状況なので、問題はないように思う。地元が確実に譲渡の提案を受け入れられるのであれば、具体的取組にある「廃止」の部分は削除してもよいのではないか。
- 笹倉地区コミュニティセンターを地元に譲渡するならば、地元負担を減らすために施設の耐震化や設備の改修をした上で行ってほしい。譲渡後も富山市民全般を対象とした施設になるとしたら、地区住民以外も使えるにもかかわらず管理費や改修費は地区が払うことになり、負担が大きくなってしまわないかという懸念もある。
- 笹倉地区コミュニティセンターは他地区の住民も利用しているので、廃止や地元譲渡をする際には、笹倉地区住民だけでなく他地区の住民の意向も聞き、説明をしてほしい。

- 笹倉地区コミュニティセンターの運営を委託されている笹倉地区コミュニティセンター管理組合に対して、廃止や地元譲渡を決定する前に丁寧な説明をし、話し合う必要があると思う。急に譲渡すると言われても、改修費用の積立などの準備期間がなければ対応できないだろう。

2) 文化施設

- 富山市内の会合ができる施設で、婦中ふれあい館ほど多くの駐車スペースがあり、利便性の高い施設は他にないと思う。空調設備の不具合などの老朽化している部分を整備して、これからも様々な行事で活用できる様にしてほしい。
- 婦中ふれあい館ではイベントだけでなく地域全体の総会にも使われていて、地域の中心的な集会施設でもあるので、ホール機能だけでなく集会機能も維持してほしい。

3) スポーツ施設（体育館、プール、その他のスポーツ施設）

- 施設の維持管理が不十分で使いづらくなったために、利用率が下がってしまった施設もあると思う。ニーズがないなら廃止するのは仕方ないが、ニーズがあるのに使われない施設があるのは問題なので、維持管理をしっかりと行ってほしい。
- 婦中体育館音川分館は耐震工事がされておらず、維持管理の人手も足りない。中山間地にあるため他地区からの利用が期待できないことも考えると、廃止もやむを得ないと思う。隣の校舎も老朽化しているので、一緒に解体することを検討してほしい。
- 婦中スポーツプラザプールは屋根の修理をしないままなので、利用者が減ってしまったのではないかと。ニーズはあると思うので屋根を直せば利用する人はいるだろう。
- 温水プールや屋内プールが主流になっている中、婦中スポーツプラザプールを改修したとしても利用は見込めないのではないかと。利用率と改修コストが見合わないのならば、譲渡または廃止を検討してもよいと思う。
- 婦中スポーツプラザテニスコートは利用率が低いので、婦中スポーツプラザプールとあわせて廃止を検討してはどうか。
- ストリートスポーツパークはまだ新しく、珍しい施設でもあるので、廃止という後ろ向きな見直しではなく、地域の人々が有効活用し、利用率を上げられる様な前向きな見直しをしてほしい。

- 速星中学校が婦中体育館を利用していることが現状の利用率の高さを支えていると思うが、駐車スペースを増やしたりトレーニング設備を新しくできると、一般の利用者が増えて更なる利用率向上につながるのではないか。

4) 学校（小学校、中学校）

- 具体的取組として「児童生徒数の推移を見極めながら、今後のあり方について見直しを行う」とあるが、学校は地域の核となる場所なので、児童生徒数が減ったからと即見直しされては困る。「地域住民の意見を聞き、意見を反映させつつ」と加えてほしい。

5) 幼保・子ども園（保育所）

- 子どもが少ない地区にある保育所を、幼児数が減少したからといって統合していったら、子育て世代は保育所の近い地区に移転してしまい、保育所がなくなった地区から若い人がいなくなってしまう。具体的な取組に挙げられている内容は理解できるが、配置バランスを慎重に検討してほしい。

6) 庁舎等

- 婦中行政サービスセンターに福祉関係の窓口機能を集めて利便性を高めたり、空きスペースを集会施設として活用できるとよい。
- 婦中行政サービスセンターは、近隣地域の住民も利用している富山市の西側の拠点施設なので、長寿命化を図りできるだけ長く使ってほしい。
- 婦中行政サービスセンターには空きスペースが多いと言うが、どこに空きがあるのか思いつかない。各階にどのくらいの空きスペースがあるのか示してほしい。

2 個別具体施設の整備方針（案）について

■ 案全般

- 西保健福祉センター、婦中行政サービスセンター、婦中ふれあい館は移転せずに長寿命化して使い続ける方が、移転に伴う大きなコストがかからないのでよいと思う。
- 今後少子化で空き教室が増えることを考えると、婦中行政サービスセンターと学校の複合も検討してみてもどうか。

- 安田城跡ガイダンス施設の展示品は単独で展示するのではなく、他の施設にある旧婦中町に関連する資料などと一緒に展示したり、埋蔵文化財センターに移転する方がよいと思う。
- 安田城跡ガイダンス施設は図書館に複合してパネルなどで展示を行い、図書館で歴史などについても調べられるようにするとよいのではないか。
- 現地を見ないで話を聞いたり、資料を見ても意味がない。城跡以外にガイダンス施設を設置している事例は国内にそうはないだろう。安田城跡ガイダンス施設は規模を縮小したとしても今の場所にあった方がよい。
- 安田城跡ガイダンス施設の移転には朝日地区の住民が納得しないのではないかと。地元との調整を丁寧にやってほしい。
- 市が施設を集約してコストを削減したいのは理解できるが、集約した結果、施設がなくなった地区が不便になるのではないかと。施設を集約化が行政サービスの低下につながらないか心配だ。
- 婦中地域ではすぐに人口が減少するわけではないので、婦中行政サービスセンターを長寿命化して使い続け、10年後に状況の変化を見て今後の整備方針を検討することにしてはどうか。
- コスト削減のために公共施設の面積を削減するのだと理解しているが、そのための改修や解体にコストがかかってしまっただけでは本末転倒ではないかと。案を検討する上でコストは重要なので、現状のままの場合、A案、B案のコストが示されていると議論がしやすい。市作成資料にある「改修」という表現についての定義を教えてください。また、増築なのか新築なのかも明確にしてほしい。
- 施設を集約する場合、いずれの案でも建物の改修が必要になると思うが、改修中の代替施設についても検討してほしい。

■ A 案

- 西保健福祉センターは福祉ゾーンの中心施設であり、地域内の公共施設のバランスを考えて配置されている。福祉ゾーン内の施設間での連携も図れているので、移転する必要はないと思う。
- 西保健福祉センターは婦中地域だけでなく、呉羽地域や八尾地域、山田地域からも利

用しているので、他地域の人のアクセスを考えると現在の立地の方がよいと思う。

- 行政サービスセンターは多様な年代の人が多く訪れる場なので、病気の感染リスクが高いと思う。そこに西保健福祉センターを移転したら、妊婦や子ども連れの人は抵抗があるのではないか。西保健福祉センターの近くには広い芝生の公園があるので検診後に子どもを遊ばせることもできるし、今の立地の方が安心感があって使いやすいと思う。
- 婦中行政サービスセンターには、西保健福祉センターを複合するだけのスペースはないのではないか。
- 母子健康手帳交付や乳幼児検診に来る人は車を利用するので駐車場が広いことが重要だ。福祉ゾーンの駐車場は広いが、それでも満車になることがある。行政サービスセンターと複合したら駐車場が足りなくなるのではないか。
- 行政サービスセンターには図書館と安田城跡ガイダンス施設だけを集約したらよいと思う。そうすれば、公共施設が分散配置されるので駐車場の確保がしやすく、周辺道路も渋滞しにくくなるだろう。
- 婦中図書館が行政サービスセンターに移転すると、小学校に近くなるので小学生が行きやすくなり、子どもたちを見守る目も増えるので安全面でもよいと思う。速星駅にも近いので高校生にとっても使いやすくなるだろう。中学校からは遠くなるが中学生なら歩ける距離ではないか。
- 婦中図書館は中学生が勉強や下校時の親との待ち合わせのために利用しているので、学校から遠くなると不便になる。移転せずに今の場所で維持する方がよい。もし移転する場合には、婦中ふれあい館周辺に学習室や待ち合わせできるスペースを設けてほしい。
- 現状の婦中図書館は手狭なので、行政サービスセンターに複合する場合には、今ある蔵書を全て移転できるだけのスペースを確保することはもちろん、さらに蔵書を増やし、学習スペースも今より充実できるように考えてほしい。
- 婦中図書館が移転した後の空きスペースを学習室や作業場として使えるとよい。部屋には人を配置せず、カメラで管理すればコストは抑えられるだろう。
- 行政サービスセンターに婦中図書館を移転した際に、図書館の利用時間や開館日をサービスセンターに合わせる必要が出ると使いづらくなる。休日や夜間も利用できるかは重要なことなので、複合化した場合の運営方法についても併せて提案してほしい。

- コミュニティバスは1日数本しか走っていないので、車を持っていない人が婦中行政サービスセンターに行くには電車を使うしかない。婦中行政サービスセンターは速星駅から近い方が利便性が高いと思う。
- 婦中行政サービスセンターに婦中中央児童館や婦中図書館を複合できると、子連れで利用しやすくなってよいと思う。
- 様々な機能を集めてもそれらを利用する層が違えばワンストップにはならないと思う。ワンストップサービスを実現したいなら、施設を複合しなくても窓口機能だけを集めれば済むことなので、婦中地域で施設を集約することがどの様に利便性の向上につながるのかをもっと具体的に説明してほしい。
- 行政サービスセンターに様々な施設を複合したら、駐車場が足りなくなってしまうのではないか。速星小学校の行事でも利用しており、周辺施設の利用者にも配慮して広い駐車スペースを確保してほしい。改修の際に1階部分を駐車場にしたり、減築して駐車場スペースを広げられないか。駐車場整備と共に、公共交通でのアクセスの充実も必要になるだろう。
- 婦中行政サービスセンターに立体駐車場を整備すれば、水害時の避難に使い、駐車場不足も解決できるのでよい。
- コスト的に難しいのかもしれないが、現状の建物のままでは移転する機能を複合するのに十分なスペースが確保できないと思うので、婦中行政サービスセンターを増築してほしい。
- 西保健福祉センターなどを移転しないと行政サービスセンターに空きスペースができてしまうのであれば、行政サービスセンターを減築してもよいと思う。但し、手続きできる内容を減らすなどの行政サービスの縮小はしないでほしい。
- 婦中行政サービスセンターの空きスペースは、施設を複合したり減築をしないで、災害時の避難スペースや物置として活用するためにそのまま残しておけばよいと思う。

■ B案

- 西保健福祉センターを今のまま維持できるのに加え、婦中ふれあい館に機能を複合することで拠点性も高まる点がよい。速星駅から離れていることは、駅の利用者がさほど多くないことを考えると大きなデメリットにはならないだろう。

- 婦中行政サービスセンターを婦中ふれあい館周辺に移転することで、地域内の公共施設のバランスが悪くなって地区間の発展格差が出たり、小学校の周りに公共施設がなくなって子供を見守る目が少なくなることが心配だ。
- 婦中ふれあい館には、婦中行政サービスセンターの機能を複合するだけのスペースがないのではないか。婦中ふれあい館周辺にどのくらいの空きスペースがあるのかわからないので案の評価がしづらいが、増築の必要があるとコストがかかり、市の財政のためにコストを下げるという目的に反すると思う。
- 婦中ふれあい館周辺に婦中行政サービスセンターを移転すると、ホールでのイベントや大会、速星中学校での催しなどの際に、現状でも足りない駐車場が更に足りなくなることが心配だ。施設周辺の道路の渋滞も発生するのではないか。
- 婦中行政サービスセンターは災害時に浸水の恐れがあることや婦中体育館で防災の取組が行われていることを踏まえると、婦中ふれあい館周辺を防災拠点として整備するのは妥当だと思う。
- 災害時には道路の遮断や川の氾濫がありえるので、婦中ふれあい館周辺に防災拠点ができて恩恵を受ける住民が偏ってしまう。地区の防災拠点にはなるが、地域全体の防災拠点にはならないのではないか。

3

評価項目について

- 評価項目の文言に定性的な表現が多いので、何をもってそれを判断するのかイメージできない。評価する際の判断基準となる指標を示してほしい。
- これまでワークショップで出された意見を見ると、地域の中心を定める方向にはなっていないと思うので、「地域の中心となる地域を定めて、地域に必要な機能を集中させる」という評価項目には違和感がある。

- 水害時の対応策は婦中だけではなく、近隣地域を含めた広域で検討すべきだ課題だと思うので、このワークショップ以外の場を設けて議論できるとよい。
- 人件費の削減や設備利用の効率化など、公共施設の面積を減らす以外にも維持コストを下げる方法はあるだろう。
- 旧婦中町時代の総合計画で予定されていた速星小学校の改築が進まないなど、合併した旧町村の施設は縮小ばかりして、旧富山市の施設にはお金をかけている様に感じる。
- 朝日公民館の機能を朝日小学校の空きスペースに移転するという提案が出ていたが、小学校にはそれだけのスペースはないと思う。地区の現況をもう少し良く理解した上で発言してほしい。